

令和6年10月22日

小樽市総合計画審議会

会長 穴沢 眞 様

人・暮らし・都市分科会長 松 原 三智子

産業振興・環境分科会長 林 松 国

分科会報告書の提出について

分科会における審議の概要につきまして、別添のとおり報告いたします。

小樽市総合計画審議会

各 分 科 会 報 告 書

令和6年10月22日

(目次)

- I 人・暮らし・都市分科会報告書 P 1
- II 産業振興・環境分科会報告書 P 7

小樽市総合計画審議会 人・暮らし・都市分科会報告書

分科会長 松原三智子
上野亜希子
菊池博幸
酒井隆裕
島口郁世
杉山奈穂子
鈴木敏夫
高垣直美
堀口雅行
横尾英司
脇本麻友美

○審議経過

- 第1回 令和6年8月7日(水) 14:00～15:30 9人出席
議題：分科会の進め方、基本計画（改訂原案）について
- 第2回 令和6年8月19日(月) 10:00～11:30 9人出席
議題：基本計画（改訂原案）について
- 第3回 令和6年10月15日(火) 10:00～11:30 8人出席
議題：分科会報告書（案）について

○分科会としてのまとめ

第7次小樽市総合計画基本計画（改訂原案）について、当分科会の所掌事項である「子ども・子育て」「市民福祉」「生活基盤」「生きがい・文化」の分野及び全体に係る部分を慎重に審議した結果、その内容は概ね妥当であるが、審議会の答申に以下のとおりの意見を付すべきとの結論に至りました。

○意見・提言

【人口減少・少子高齢化への対応に関する事項】

《テーマ全体》

- 近年の外国人住民の増加傾向は、雇用・労働施策をはじめ様々な分野に関連する事柄であるため、市内に居住する外国人の推移が分かるようなグラフの追加について検討されたい。

《施策1 人口減少への挑戦》

- 「親子連れで遊べる小樽の特性を生かした小樽公園の再整備」とあるが、親子連れで遊べない公園があるのかと受け取られる懸念もあるため、表現の工夫を検討されたい。(共通施策：5-3「公園・緑地」)

《施策2 将来人口への適応》

- 特になし

【テーマ1 子ども・子育てに関する事項】

《施策1 子ども・子育て支援》

- 保育についてデジタル技術の活用に関する文言が追加されたが、主な取組への繋がりを考慮し、追加場所を修正し「保育環境の整備が求められており、デジタル技術の活用を含めた保育サービスの充実が必要」とするよう検討されたい。
- 児童生徒の居場所充実について「必要性が高まっています」としているが、後退した表現に見えるため、変更前の「必要です」のままとするよう検討されたい。
- 「子ども・若者・子育て当事者の意見を反映」とあるが、そのほかの意見は聞かないような誤解が生じないように、表現の修正を検討されたい。
- ヤングケアラーについて追加されているが、ゲーム依存や不登校、ひきこもりといった問題も含めた表現について検討されたい。
- 指標「育児相談延べ件数」について、現在の記載のみではなぜ件数増を目指すのかが読み取りにくいことから、目指すべき方向性がより明確となるよう、補足の説明や、具体的に注力しているような取組に関する指標などの追加を検討されたい。

《施策2 学校教育》

- 特になし

【テーマ2 市民福祉に関する事項】

《施策1 地域福祉》

- 特になし

《施策2 高齢者福祉》

- 「75歳以上の後期高齢者数のピークをこれから迎える」とあるが、いつなのか具体的に記載するよう検討されたい。

《施策3 障がい者福祉》

- 特になし

《施策4 保健衛生》

- 特になし

《施策5 地域医療》

- 特になし

《施策6 男女共同参画社会》

- 「情報誌『ぱるねっと』の発行、講演会、パネル展等の開催による男女共同参画の意識の浸透と人権尊重の啓発」とあるが、男女共同参画の意識づくりに関してはより積極的に取り組むべきであり、どのような意識の啓発を目指すかなど、より具体的な表現や取組を追記するよう検討されたい。

【テーマ4 生活基盤に関する事項】

《施策1 上下水道》

- 特になし

《施策2 道路・河川》

- 指標「河川の年間しゅんせつ延長」とあるが、このほか年間数値の指標であるものの「年間」と記載していない指標もあるため、表現を統一するよう検討されたい。

《施策3 住宅》

- 特になし

《施策4 除排雪》

- 特になし

《施策5 市街地整備》

- 特になし

《施策6 交通》

- 並行在来線に関して「持続可能な代替交通を構築していく必要があります」とあるが、今の運輸機能を維持できるだけの代替交通を構築していくことを求めていくべきであり、「持続可能」という文言は削除するよう検討されたい。

《施策7 防災・危機管理》

- 特になし

《施策8 消防》

- 特になし

《施策9 生活安全》

- 特になし

【テーマ6 生きがい・文化に関する事項】

《施策1 社会教育》

- 特になし

《施策2 文化芸術》

- 特になし

《施策3 スポーツ・レクリエーション》

- 指標「成人の週1回以上のスポーツ実施率」の目標値について、国（スポーツ庁）におけるスポーツ基本計画を踏まえ設定された数値であることが分かるよう、補足説明の追記を検討されたい。

《施策4 国際交流》

- 特になし

【市政運営の基本姿勢に関する事項】

《施策1 市民参加と協働によるまちづくりの推進》

- 特になし

《施策2 持続可能な行財政運営の推進》

- 特になし

《施策3 広域連携の推進》

- 特になし

【その他基本計画全般に関する事項】

- 指標については、目的等を明確にし、市民にも分かりやすく、達成や進捗が実感できるようなものとなるよう、全体的に見直しを検討されたい。
- GX（グリーントランスフォーメーション）についても追記するよう検討されたい。

小樽市総合計画審議会 産業振興・環境分科会報告書

分科会長	林	松	国
	穴	沢	眞
	荒	木	慶
	岡	部	唯
	賀	川	智
	斎	藤	仁
	高	橋	龍
	中	源	博
	中	野	豊
	久	末	智
	前	田	清
	松	岩	一
			輝

○審議経過

- 第1回 令和6年8月6日(火) 14:00～15:30 8人出席
議題：分科会の進め方、基本計画（改訂原案）について
- 第2回 令和6年8月19日(月) 14:00～15:45 9人出席
議題：基本計画（改訂原案）について
- 第3回 令和6年10月16日(水) 14:00～15:54 6人出席
議題：分科会報告書（案）について

○分科会としてのまとめ

第7次小樽市総合計画基本計画（改訂原案）について、当分科会の所掌事項である「産業振興」「環境・景観」の分野及び全体に係る部分を慎重に審議した結果、その内容は概ね妥当であるが、審議会の答申に以下のとおりの意見を付すべきとの結論に至りました。

○意見・提言

【人口減少・少子高齢化への対応に関する事項】

- 特になし

【テーマ3 産業振興に関する事項】

《施策1 農林業》

- 特になし

《施策2 水産業》

- 沖合漁業以外の、漁獲単価が高いと思われる漁業を伸ばしていくことも方向性に含めた表現に修正するよう検討されたい。

《施策3 商業》

《施策4 工業・企業立地》

- スタートアップ支援については、より大きなスケールでの取組も必要と思われるため、そうした取組の実施を見据えた記載を、施策3「商業」あるいは施策4「工業・企業立地」へ追加するよう検討されたい。

《施策5 観光》

- 「朝里川温泉、天狗山、北運河、祝津地域など、市内に点在する観光資源のニーズを捉えた磨き上げと発掘及び回遊性を高める取組」とあるが、旧手宮線について、手宮方面への回遊性を高めることで北運河周辺の活性化も期待できることから、「旧手宮線」も追加するよう検討されたい。

また、策定中の歴史的風致維持向上計画において、歴史的風致として位置付けようとしている「小樽公園」についても追加するよう検討されたい。

- 市内の歴史的な建造物などを取得活用したい事業者がいる一方で、活用されず取り壊されてしまう建造物もあることから、観光資源の保存・活用の観点で、こうした建造物と事業者のマッチングを図る取組の実施を見据えた記載追加を検討されたい。

《施策6 港湾》

- 特になし

《施策7 雇用・労働》

- 特になし

【テーマ5 環境・景観に関する事項】

《施策1 環境保全》

- 特になし

《施策2 循環型社会》

- 指標では「生活系資源物排出量」と記載されているが、「現状と課題」の項では「生活系」の文言を削除しており、表現の統一を図られたい。
- 「生活系資源物排出量」について、140g前後の横ばいで推移しているとのことであり、今後もその数値で推移するものと推測されるが、目標値は基準値より増加すべきとの考え方でよいのかも含め、分かりやすい指標となるよう表現について検討されたい。

《施策3 公園・緑地》

- 特になし

《施策4 都市景観》

- 「『伝統的建造物群保存制度』等による国の支援制度の活用を含めた取組の検討」とあるが、歴史的風致維持向上計画の次の段階として、「取組の推進」とするなど、より積極的な姿勢となるような表現への修正を検討されたい。

【市政運営の基本姿勢に関する事項】

《施策1 市民参加と協働によるまちづくりの推進》

- 特になし

《施策2 持続可能な行財政運営の推進》

- 「本市の財政は非常に厳しい状況にあり」という文言を削除しているが、現在も余裕のある状況にはないと考えられることから、そのことが読み取れるような表現を残すよう検討されたい。

《施策3 広域連携の推進》

- 特になし

【その他基本計画全般に関する事項】

- 北海道・札幌市がGX関連の「金融・資産運用特区」の対象地域の一つとなり、本市も関連が考えられることから、GX（グリーントランスフォーメーション）に関する記載について検討されたい。
- 本市でもヒグマが相当数目撃され、捕獲もされているが、農業被害の記載とは別に、市民の安全・安心の観点による記載についても検討されたい。